



# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA SOUTH EAST  
名古屋東南ロータリークラブ [ウィークリーレポート]

http://www.rc-nagoya-southeast.com/  
e-mail serc@h3.dion.ne.jp

06-07年度 RI会長 /  
ウィリアム(ビル)B・ボイド



承認 / 1969年3月12日 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル ■会長 / 大西 弘高 ■幹事 / 成瀬 和男  
事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2203号 TEL.052-583-0010 FAX.052-583-0009

## 1860回例会

2007年1月17日(水)晴 第26回

斉唱 「我等の生業」  
出席 会員72名 出席37名  
出席計算人数65名  
出席率56.92%  
ゲスト 米山奨学生 楊 蓓蓓(やんべいべい)さん

### 会長あいさつ

(会長 大西 弘高君)



皆さん、こんにちは。今日もご出席いただきまして、大変ありがとうございます。

12年前の今日阪神淡路大震災が発生しました。12年前の今日ということで、阪神大震災も亥年であったということです。伊勢湾台風も亥年だったようです。今年は亥年なので、なんとなく気持ちが悪い感じがします。

ニュースを見ていますと、こういう災害時にはともかく火事を起こさないことが大切なようです。同時多発火事というのはどうしようもないそうです。阪神大震災でも火事で亡くなった方が非常に多かったそうで、これを防ぐためにも、震災が来たときにはまず火の元を確認することが大切だと思います。

地震を表す単位には「マグニチュード」「震度」「ガル」などがあります。せっかくですので、今日はお話を「豆知識」としてさせていただきます。

恐らく皆さんが地震の単位で一番わかりやすいのは「震度」ではないかと思えます。これは基本的には人間の感覚で決められている単位で、決まった数値があるものではありません。花瓶が倒れるくらいが震度3、歩けないくらい揺れたら震度6、というふうに、人間の感覚で決められています。

これに対しマグニチュード(Magnitude)とは地震の規模を表わす単位で、エネルギーの大きさを表わす単位です。

例えば、震源から100kmの場所に標準地震計があつて記録紙上で最大10ミリ(1cm)の振幅を記録したとすると、この震度はマグニチュード4という事になるそうです。震源までの距離、深さによって揺れ方も違い、マグニチュードの大きさと震度は一致しません。

ちなみに、マグニチュードが1~2になると、エネル

ギーの大きさは32倍大きくなります。1から3だと約1000倍違う事になります。

もう一つ、ガルという単位があります。これは加速度を表わす単位ですが、地震計というのは振り子の下に重りをつけて、その支点の動きを記録しています。(ようするに、地震計は地震がくると震度計もいっしょに動いてしまうので、なかなか正確に振幅を計る事が出来ない。)振り子の重りよりも早く動く加速度を計っているわけです。

地球の重力は980ガル、1秒間に980cmずつ加速する、ということです。マリオットの屋上から飛び降りると(150m)約17秒位で落ちます。落ちた時のスピードは約秒速17m(時速60km)という事になります。ちなみに阪神大震災の加速度は800ガルだったそうです。

つまりわたしが説明したかった事は、何がなんだかよくわからない、はっきりしたことがよくわからないのが地震の単位じゃないかなということです。

### 幹事報告

(幹事 成瀬 和男君)

1. 地区協議会のご案内についてお詫びがあります。一般の会員、つまり出席義務者でない方のご案内の中で、日にちが4月6日となっておりますが、これは5月6日の間違いですので、ここで訂正させていただきます。
2. 本日例会終了後、18時より第1回合同委員会が「河文」にて開催されます。関係各位はご参加下さるようお願いいたします。
3. 次週1月24日の例会は、会場が名鉄グランドホテルで、夜間例会です。お間違えないようお願いいたします。受付は18時、開始は18時30分です。なお、先週理事会で鬼頭弘さんという方が入会手続きの審査・承認が得られましたので、次週例会時に入会式をとりおこないます。よろしくお願いたします。

### ニコボックス

\* 阪神淡路大震災12年目の記念日。ご冥福をお祈りしましょう。

浜崎 明君	橋爪 努君	堀田 一郎君
堀田 努君	伊藤 秀雄君	伊藤 和夫君
岩崎 誠二君	川田美代子さん	河合 幸子さん
水野 恒平君	中村 規脩君	中村 保君

### 行事のご案内

1月31日(水)の例会は、名古屋市長 松原さんによる卓話です。

中島 美恵さん 成瀬 和男君 尾本 和弘君  
大西 弘高君 佐久間貞介君 佐藤 哲也君  
下郷 卓弥君 鋤柄 喜彦君 高須 シヅさん  
東松 泰久君 藁谷喜世志君 山口 剛男君

\* 東南経済同友会、久々に優勝させて戴きました。

長次 修君

\* 年賀状を失礼しましたが、本年もよろしくお願ひします。

堀田 一郎君

\* 多くの方から新年のあいさついただいたにもかかわらずごあいさつ失礼した事、すいませんでした。

中村 保君

\* 久野君、写真ありがとう。

\* 1月24日より29日まで、ジェイアール名古屋タカシマヤ 10F「日本の伝統展」に出品します。是非ご高覧下さい。

橋爪 務君

本日合計 47,000円 累計 1,295,022円

## 15分間スピーチ

「私のふるさと」(米山奨学生 楊蓓蓓さん)



皆さん、こんにちは。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

今日は私のふるさとを紹介したいと思います。

洛陽は、それほど歴史的な街でも、上海や北京のような大都市でもありません。ですが私はこの街に對

して誇りを持っています。

洛陽の位置は、中国の真ん中、河南省にあります。平原の中にありますので、昔から「中原」とも呼ばれていました。洛陽は黄河の中流にあり、黄河、洛河、伊河などの5つの河が流れています。

また東西にはそれぞれ関所があり、南北には大きな山があります。そのため昔から兵家必争の地であり、歴代の帝王がここに都を築きました。9つの王朝、70人の王がここを都としました。

洛陽には世界文化遺産がありますので紹介します。

一番有名なのは「龍門石窟」です。無数の仏像などが彫られています。一番メインは盧舎那仏です。全体の高さが約18メートルの迫力ある仏像です。その他にも現在まで残っている石像は約100万體あり、1352カ所、その範囲は1キロにも及びます。2001年世界遺産に登録されました。

実は洛陽というのは中国仏教が始まった土地でもあります。中国における一番最初のお寺が洛陽にあります。「白馬寺」というお寺です。なぜ白馬寺と呼ばれているかと言いますと、二人の僧が白馬に乗って經典を運んできたためだそうです。正門の横には白馬の像が建っていて、その門をくぐると二人の僧のお墓があります。とても歴史を感じられる場所で、ここで新年を迎える日本人の方も多いと聞きます。

あと洛陽の名物として陶器があります。代表的な陶器としては「唐三彩」が挙げられます。「三彩」とはメインとなる3色のことを指しており、唐の時代につくられたため「唐三彩」と呼ばれます。皆さんがもし洛陽に行かれたときは、ぜひお土産として買って下さい。

また、洛陽は牡丹で有名な土地でもあります。4月15日から25日までの10日間は牡丹祭りも開催されます。珍しい色や形をして牡丹がたくさん見られますので、是非見にきてもらいたいと思います。

洛陽には水席料理というスープを主体としたおいしい

料理もあります。

私が日本に来るきっかけとして、その一つに洛陽と岡山市が姉妹都市だったことがあります。小学生の頃に岡山市から来た小学生と一緒に遊んだり、絵を描いたりしました。昔から日本とは縁があったようです。

もし皆さんの中で洛陽に興味を持たれた方がみえましたら、お声をかけていただければご案内します。

「私の職業」(佐久間貞介君)



今日は資料を二つ用意させていただきました。一つは当社のパンフレットで、もう一つは「スペシャルスチールワールド」のタイトルの特殊鋼の流通業者で作る組合のPRパンフレットです。

まず当社のパンフレットを見ていただくと、「私たちは特殊鋼の専門商社です」と書かれています。

これで当社が特殊鋼というものを扱っている流通だということが分かっていただけられるかと思います。

では「特殊鋼」とは何かといいますと、もう一つのパンフレットには「普段気がつかないけど、僕たちの身の回りには特殊鋼がいっぱい。ずっと昔から暮らしを支えてきた特殊鋼は、いわば金属のスーパーマン！」と書かれています。ここに書かれているように、目に触れないところで使われているため、なかなか皆さんに知っていただけないのが実情です。

しかし、そもそも鉄というのは、「地球の重さの3分の1が鉄」と言われるように、鉄鉱石の形で地球上に本当にたくさん存在しています。この鉄鉱石から不純物を取り除いて精錬したものがいわゆる鋼というものです。

鋼は色々な合金元素を加えることによって、様々な特徴を持った鋼に変化します。強さ、硬さ、さびにくさ、磁性、加工のしやすさなど、その鋼をどのような用途で使うかによって成分を調整し、製造した鋼が特殊鋼です。

当社について簡単に説明させていただきます。当社は設立が1951年(昭和26年)の4月です。本社は緑区にあり、浜松支店・三重支店・関東営業所を加えた4拠点で活動をしています。年商は229億円(H18年実績)、社員92名です。

当社の特徴としましては、お客様の設計段階から参加して、お客様のニーズに合わせて材料選定をし、適当な材料がない場合には、メーカーさんともども材料開発から携わって、最適な加工方法も含めて提案できる特殊鋼流通加工会社です。

このような会社ですが、まだまだ発展途上だと思っています。皆さんにこれからも助けていただきまして、なお一層いい会社をつくりたいと思っています。ぜひ鋼のことでお困りになりましたら、お声をいつでもおかけたいと思います。

## 第一合同委員会報告

(幹事 成瀬 和男君)

とき 平成19年1月17日 18:00 ~ 20:00

ところ 日本料理 河文

出席者 水野裕委員長以下23名

白木副委員長の司会で始まり、水野裕委員長の挨拶後、大西会長、各委員会報告が行われた。吉水IM実行委員長からはIMの成功をお願いしたい。伊藤会長エレクトからは楽しいロータリー、会員増強、チャレンジ100を達成したいとの前向きな発言も出された。その後宴会場にて賑やかに懇親会がおこなわれました。